

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

*Handwritten notes and signatures:*  
3780  
K-2030  
3/22/02  
#3  
RECEIVED  
MAR 20 2002  
TC 3700 MAIL ROOM

Applicant : Seiichi Orihara  
Title : TOILET PAPER HOLDER  
Serial No. : 10/057,996 ✓  
Filed : January 29, 2002  
Group Art Unit :  
Examiner :

Hon. Commissioner of Patents and Trademarks  
Washington, D. C. 20231

February 14, 2002

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Sir:

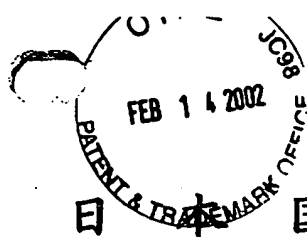
Submitted herewith is a certified copy of Japanese Patent Application No. 2001-025511 filed on February 1, 2001.

Priority of the above application is claimed under 35 USC 119.

KANESAKA AND TAKEUCHI

by *Manabu Kanesaka*  
Manabu Kanesaka  
Reg. No. 31,467  
Agent for Applicants

1423 Powhatan Street  
Alexandria, Virginia 22314  
(703) 519-9785



Sn. 10/059,996

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2001年 2月 1日

出願番号  
Application Number:

特願2001-025511

ST.10/C ]:

[JP2001-025511]

出願人  
Applicant(s):

株式会社折原製作所

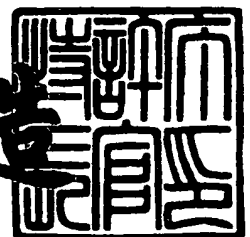
RECEIVED  
MAR 20 2002  
TC 3700 MAIL ROOM

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2002年 1月29日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 M000RS01

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A47K 10/40

【発明者】

【住所又は居所】 東京都荒川区西日暮里1丁目3番5号株式会社折原製作所内

【氏名】 折原 征一

【特許出願人】

【識別番号】 000147958

【住所又は居所】 東京都荒川区西日暮里1丁目3番5号

【氏名又は名称】 株式会社折原製作所

【代理人】

【識別番号】 100067699

【住所又は居所】 東京都荒川区東日暮里5丁目48番2号第一建物ビル4階

【弁理士】

【氏名又は名称】 須田 孝一郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100102761

【住所又は居所】 東京都荒川区東日暮里5丁目48番2号第一建物ビル4階

【弁理士】

【氏名又は名称】 須田 元也

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 070542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【物件名】 委任状 1

【援用の表示】 平成13年2月1日提出の包括委任状を援用する。

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 トイレットペーパーホルダー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ロールペーパー保持体（１）と、ロールペーパー切断用押さえ板（２）と、ロールペーパー軸支部材（３ a）からなるトイレットペーパーホルダー（X）において、該保持体（１）は、両側縁に該押さえ板（２）が摺動するためのガイド部（１ a）を備える背板（１ b）と、ロールペーパー（R）が着脱自在となるように可動する該軸支部材（３ a）が突設される該背板（１ b）に垂設される一対の保持板（１ c、１ d）を備え、該押さえ板（２）は、該保持体（１）のガイド部（１ a）に係入して摺動する背板（２ a）と、該背板（２ a）から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される押さえ部（２ b）を備え、該押さえ部（２）の先辺部（２ c）がロールペーパー（R）の中心点から略垂直線上に位置づけられることを特徴とするトイレットペーパーホルダー。

【請求項 2】 ロールペーパー保持体（１）と、ロールペーパー切断用押さえ板（２）と、ロールペーパー軸支部材（３ a）からなるトイレットペーパーホルダー（X）において、該保持体（１）は、両側縁に該押さえ板（２）が摺動するためのガイド部（１ a）を備える背板（１ b）と、ロールペーパー（R）が着脱自在となるように可動する該軸支部材（３ a）が突設される該背板（１ b）に垂設される一対の保持板（１ c、１ d）を備え、該押さえ板（２）は、該保持体（１）のガイド部（１ a）に係入して摺動する背板（２ a）と、該背板（２ a）から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される押さえ部（２ b）を備え、該押さえ部（２）の先辺部（２ c）がロールペーパー（R）の中心点から略垂直線上に位置づけられると共に、軸支されるロールペーパー（R）に接触することなく僅少な間隔を有することを特徴とするトイレットペーパーホルダー。

【請求項 3】 保持板（１ c、１ d）内側部に設けられたロールペーパー軸支部材（３ a）に、ロールペーパー（R）側方向に斜状に起立する爪部（３ b）を対向して備えることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載するトイレットペーパーホルダー。

【発明の詳細な説明】

## 【 0 0 0 1 】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、ロールペーパーのペーパー残量に拘わらず、利用者が片手をもって容易にペーパーを切断することが可能なトイレットペーパーホルダーに関するものである。

## 【 0 0 0 2 】

## 【従来の技術】

従来提供されているトイレットペーパーホルダーは、ロールペーパー本体に対して、上下方向に回動自在に枢支する蓋体を備えるトイレットペーパーホルダーが提供されている。

## 【 0 0 0 3 】

さて、かかる蓋体においては、ロールペーパーの装着容易化等を図るべく、枢支構造において、一定の遊びを設けているものであるため、蓋体のみにより、ペーパーを押さえつつ相当程度の圧力を維持しペーパーを切り離す機能に劣り、利用者は片手をもってペーパーの切断を容易になすことが困難であった。

## 【 0 0 0 4 】

また、その他、ペーパーを引き出す際、跳ね上がる蓋体がロールペーパーにあたる小刻みな音が生じたり、蓋体の押圧が不十分なためロールペーパーの空回りなどの欠点も散見された。

## 【 0 0 0 5 】

さて、上記問題点を鑑み、本出願人は、かつて、従来のトイレットペーパーホルダーの改良、特に蓋の角度が一定のまま、その自重によってペーパーを押さえ蓋のバタつきを無くし、常に均一圧によりペーパーが押さえられ、スムーズで静かなペーパーの引き出しが可能であり、蓋を押さえる必要なく片手でペーパーを切り取り可能なトイレットペーパーホルダーを考案した。（実公平 4 - 6 6 3 8 号）

本考案は、前記した従来のトイレットペーパーホルダーにおける諸問題を解決した考案であったが、蓋体が、背板から前方に突出すると共に、下方に向かい湾曲する蓋板を形成したため、以下の問題点を残存せしめる結果となった。

## 【0006】

蓋体の先辺部、すなわち、ペーパーの切断機能を有する部分が、ロールペーパーの中心点に対し、前方部に位置づけられるため、蓋体が常時ロールペーパー上部全体を被覆する状態となり、いきおいペーパーの量が減じた際、当該先辺部とペーパーの接点に隙間が生じ、ペーパーの切断が片手をもって容易になすことが困難な場合が生ずるに至った。

## 【0007】

これを詳細に説明すると、ペーパーが減少していき、蓋体の先端部がロールペーパーとの間に距離が生ずると、ペーパーを切断する際に作用するペーパーを引き上げる力と、その反作用としてペーパーを引きとめる力とが、ペーパー自体に掛かることとなるため、ペーパーは概して引っ張る力に対し弱いと考えられるので、いきおいペーパーを引き上げる力が有効に働きにくく、容易に切断することができなくなるのである。

## 【0008】

トイレという狭小な空間において一方方向のみに設置されるトイレットペーパーホルダーに対して、両手をもってペーパーの切断作業を強いることは、利用者に極めて不自然な姿勢を要求するものであり、今日の我が国における急速な高齢化社会を鑑みると、かかる状況は、決して看過しえない問題点として認識されるべきものである。

## 【0009】

さらに、身体に障害がある人々の社会生活への自立に対する環境整備が求められるなか、それに対する障壁を除去していくことは确实且つ迅速に望まれるところであり、トイレという公共施設における関連備品の改善の必要性は顕著である。

## 【0010】

## 【発明が解決しようとする課題】

本発明は、かかる問題点に鑑みなされたものであり、その目的とするところは、ロールペーパー切断用押さえ板の自重によってペーパー部を均一且つ十分に押圧することにより、利用者は片手をもって容易にペーパーを切り離すことが可能

となり、かつペーパーの残量に拘わることなく、その効果を達成することが出来るトイレットペーパーホルダーを提供するものである。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記の目的を達成するため、トイレットペーパーホルダーにおいて、ロールペーパー保持体（１）と、ロールペーパー切断用押さえ板（２）と、ロールペーパー軸支部材（３ a）からなるトイレットペーパーホルダー（X）において、該保持体（１）は、両側縁に該押さえ板（２）が摺動するためのガイド部（１ a）を備える背板（１ b）と、ロールペーパー（R）が着脱自在となるように可動する該軸支部材（３ a）が突設される該背板（１ b）に垂設される一对の保持板（１ c、１ d）を備え、該押さえ板（２）は、該保持体（１）のガイド部（１ a）に係入して摺動する背板（２ a）と、該背板（２ a）から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される押さえ部（２ b）を備え、該押さえ部（２）の先辺部（２ c）がロールペーパー（R）の中心点から略垂直線上に位置づけられることを特徴とするものである。

【 0 0 1 2 】

また、トイレットペーパーホルダーにおいて、ロールペーパー保持体（１）と、ロールペーパー切断用押さえ板（２）と、ロールペーパー軸支部材（３ a）からなるトイレットペーパーホルダー（X）において、該保持体（１）は、両側縁に該押さえ板（２）が摺動するためのガイド部（１ a）を備える背板（１ b）と、ロールペーパー（R）が着脱自在となるように可動する該軸支部材（３ a）が突設される該背板（１ b）に垂設される一对の保持板（１ c、１ d）を備え、該押さえ板（２）は、該保持体（１）のガイド部（１ a）に係入して摺動する背板（２ a）と、該背板（２ a）から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される押さえ部（２ b）を備え、該押さえ部（２）の先辺部（２ c）がロールペーパー（R）の中心点から略垂直線上に位置づけられると共に、軸支されるロールペーパー（R）に接触することなく僅少な間隔を有することを特徴とするトイレットペーパーホルダー。

【 0 0 1 3 】



## 【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

## 【0014】

本発明に係るトイレットペーパーホルダー（X）は、ロールペーパー保持体（1）と、ロールペーパー切断用押さえ板（2）と、ロールペーパー軸支部材（3a）からなる基本的構造を有するものであり、例えば使用素材として軽量且つ耐久性に富む合成樹脂などが想定される。

## 【0015】

ロールペーパー保持体（1）は、ガイド部（1a）を備える略矩形状の背板（1b）と、背板（1b）両縁から垂設される一对の保持板（1c、1d）とからなる基本的構造を有するものであり、これらが一体的に成形される。

## 【0016】

ガイド部（1a）は、背板（1b）の両縁が、例えば内側に屈曲された溝を形成させることにより設けられ、かかる溝部にロールペーパー切断用押さえ板（2）の背板（2a）が係入されることとなる。

## 【0017】

保持板（1c、1d）には、対抗する内面にロールペーパー軸支部材（3a）が設けられ、該軸支部材（3a）は、ロールペーパーが着脱自在となるように可動する構造が採用されている。

## 【0018】

なお、ロールペーパー保持体の背板（1b）中央部に例えば方形状部材などを突設させることにより、ロールペーパー切断用押さえ板（2）の背板中央部に穿設された溝の上部と係り止めることによって、ロールペーパー（R）が装着されていない場合であっても、押さえ板（2）が落下することを防止できる。

## 【0019】

ロールペーパー切断用押さえ板（2）は、保持体（1）のガイド部（1a）に係入して摺動する背板（2a）と、該背板（2a）から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される押さえ部（2b）とからなる基本的構造を有するものであり、これらが一体的に成形される。

## 【 0 0 2 0 】

押さえ部（2 b）は、全体的には、平面状に形成されており、従来提供されているトイレットペーパーホルダーにみられるような、ロールペーパーの形状に沿うべく下方に向けて湾曲する形状を有するものではない。

## 【 0 0 2 1 】

そして押さえ部（2 b）における先辺部（2 c）は、ロールペーパー（R）の中心点から略垂直線上に位置づけられるようにする。

## 【 0 0 2 2 】

かかる構成を採用することにより、押さえ部の先辺部、すなわちペーパーの切断部が接しているため、ペーパーを切断する際に生じるペーパーを引き上げる力と、その反作用としてのペーパーを引きとめようとする力は、ロールペーパーの回転方向の力となって働くこととなる。かかる力は、ペーパー同士の摩擦力に相当し、ロールペーパーの回転周囲に分散するため、ペーパーを引き上げる力を有効に働かすことが可能となり、いきおい容易にペーパーを切断することができるものである。

## 【 0 0 2 3 】

なお、先辺部（2 c）は、ペーパーの切断の便宜を図るため、例えば、刃先状に形成される。

## 【 0 0 2 4 】

また、請求項 2 に記載されるトイレットペーパーホルダーにおいては、押さえ部（2 b）は、先辺部（2 c）が軸支されるロールペーパーと直接接触しないように僅少な間隔を有するような構成が採用される。

## 【 0 0 2 5 】

かかる構成を採用することにより、先辺部が直接ペーパーの表面に接触しないため、ペーパーの引き出しの際、生じるペーパーの削りくずを防止することが可能となる。

## 【 0 0 2 6 】

なお、図示のように、先辺部の直近箇所（2 d）がロールペーパーの表面を押圧しているので、本発明の主たる目的である片手をもって容易にペーパーを切断

することは完全に達成することが出来る。

【 0 0 2 7 】

保持板（1 c、1 d）には、対抗する内面にロールペーパー軸部材（3 a）が設けられ、例えば請求項 3 に記載したトイレットペーパーホルダーのように、ロールペーパー側方向に斜状に起立する爪部（3 b）などを設けることにより、軸支されるロールペーパーが左右にずれることを防止することが可能となる。

【 0 0 2 8 】

【発明の効果】

本発明は、上記のように構成されるので、以下に示す効果を奏するものである。

【 0 0 2 9 】

ロールペーパー切断用押さえ板の自重によってペーパー部を均一且つ十分に押圧することにより、利用者は片手をもって容易にペーパーを切り離すことが可能となり、かつペーパーの残量に拘わることなく、その効果を達成することが出来るトイレットペーパーホルダーを提供するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す斜視図。

【図 2】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す斜視図。

【図 3】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す斜視図。

【図 4】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す断面側面図。

【図 5】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す平面図。

【図 6】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例を示す正面図。

【図 7】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例におけるロールペーパー保持体の一方コーナーを示す斜視図。

【図 8】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーの一実施例におけるロールペーパー保持体のガイド部を示す平面図。

【図 9】 本発明に係るトイレットペーパーホルダーにおけるペーパー切断時に働

く力を概念的に示した図。

【図 1 0】従来のトイレットペーパーホルダーにおけるペーパー切断時に働く力を概念的に示した図。

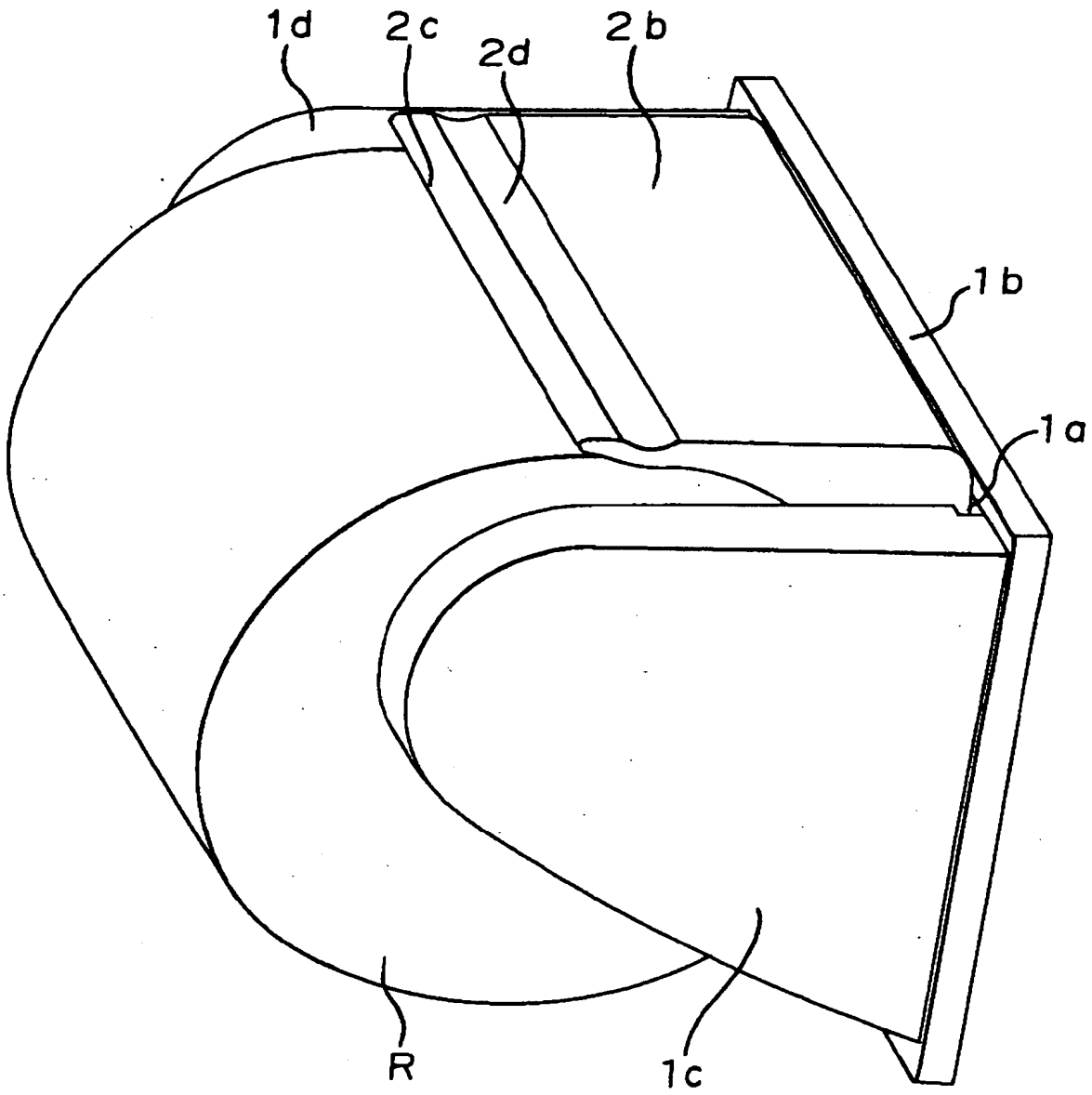
【符号の説明】

1.    ロールペーパー保持体
  - 1 a   ガイド部
  - 1 b   背板
  - 1 c   保持板
  - 1 d   保持板
2.    ロールペーパー切断用押さえ板
  - 2 a   背板
  - 2 b   押さえ部
  - 2 c   先辺部
  - 2 d   先辺部の直近個所
- 3 a   軸支部材
- 3 b   爪部

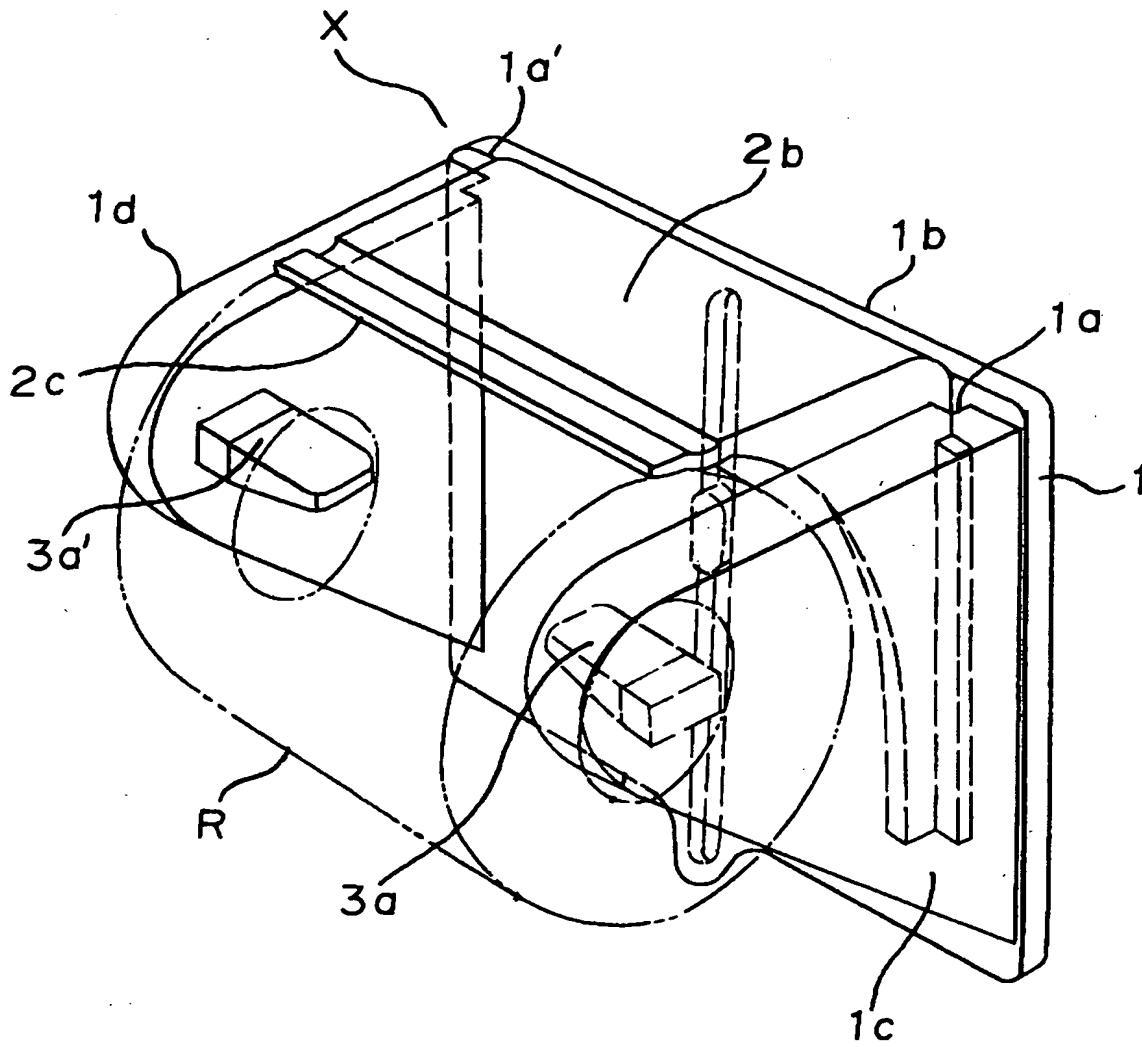
【書類名】

図面

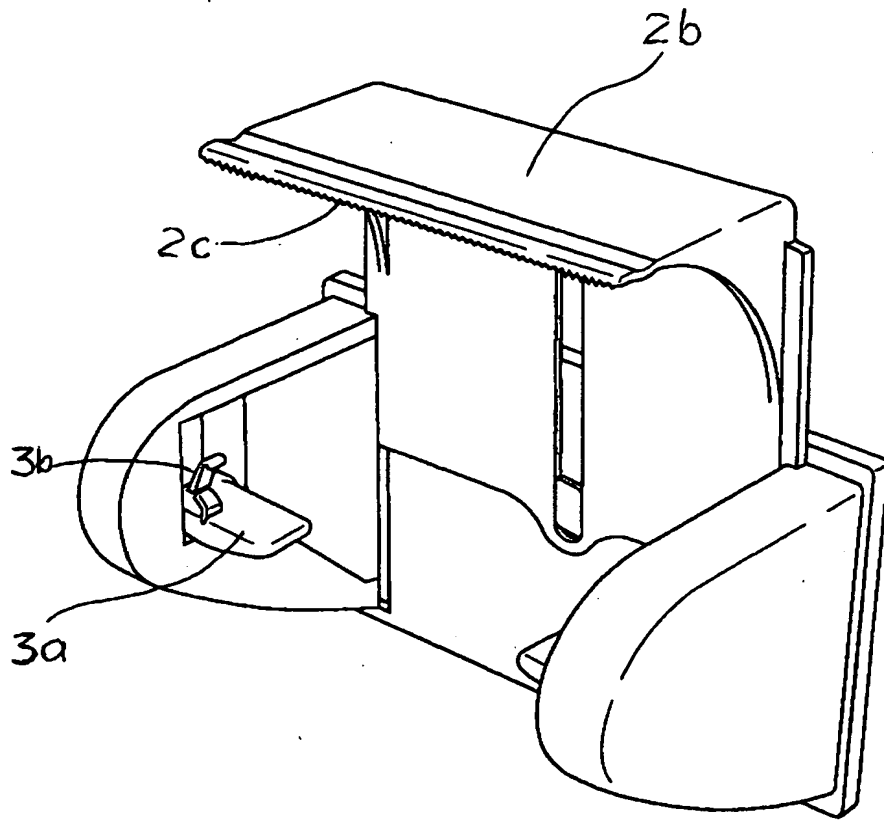
【図1】



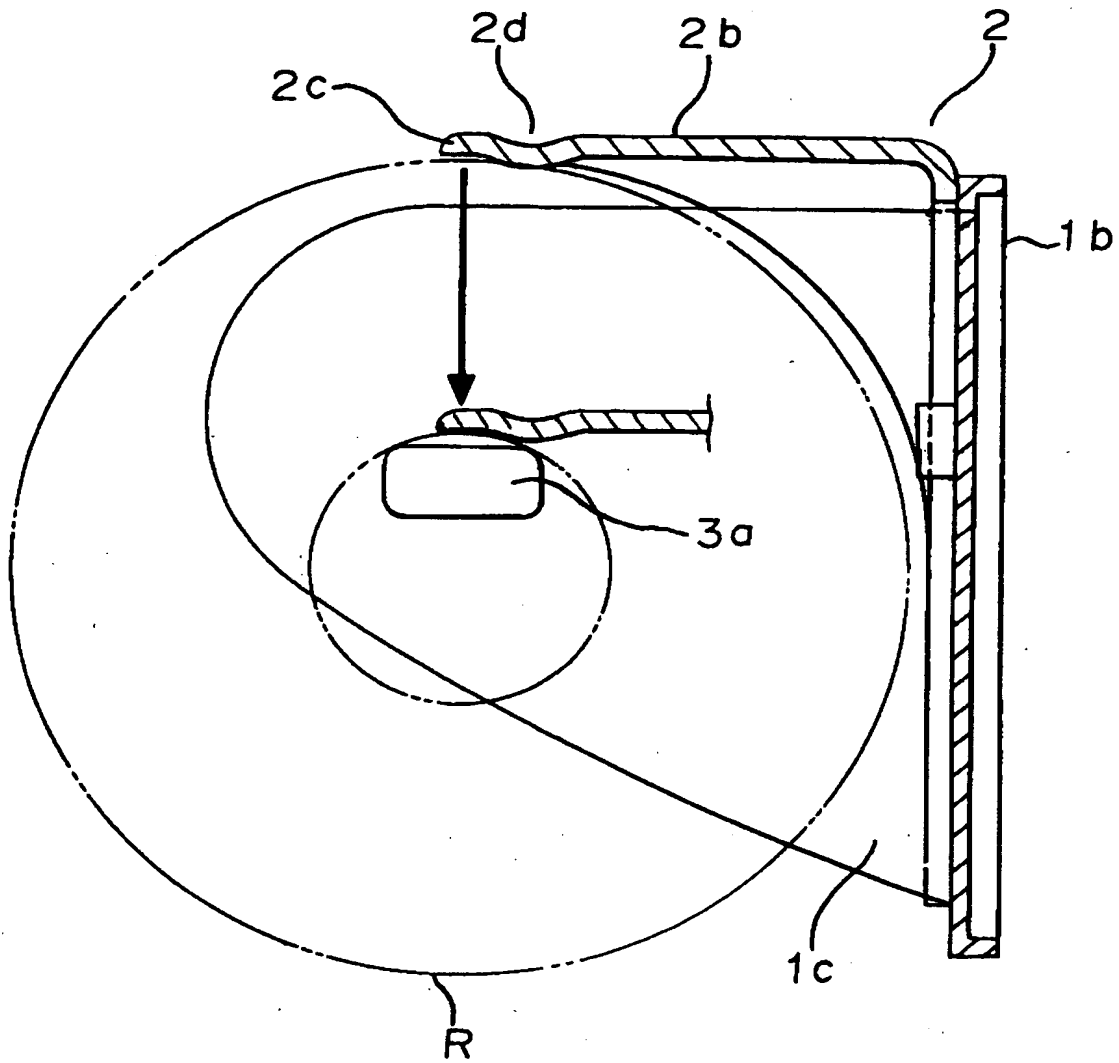
【図2】



【図3】

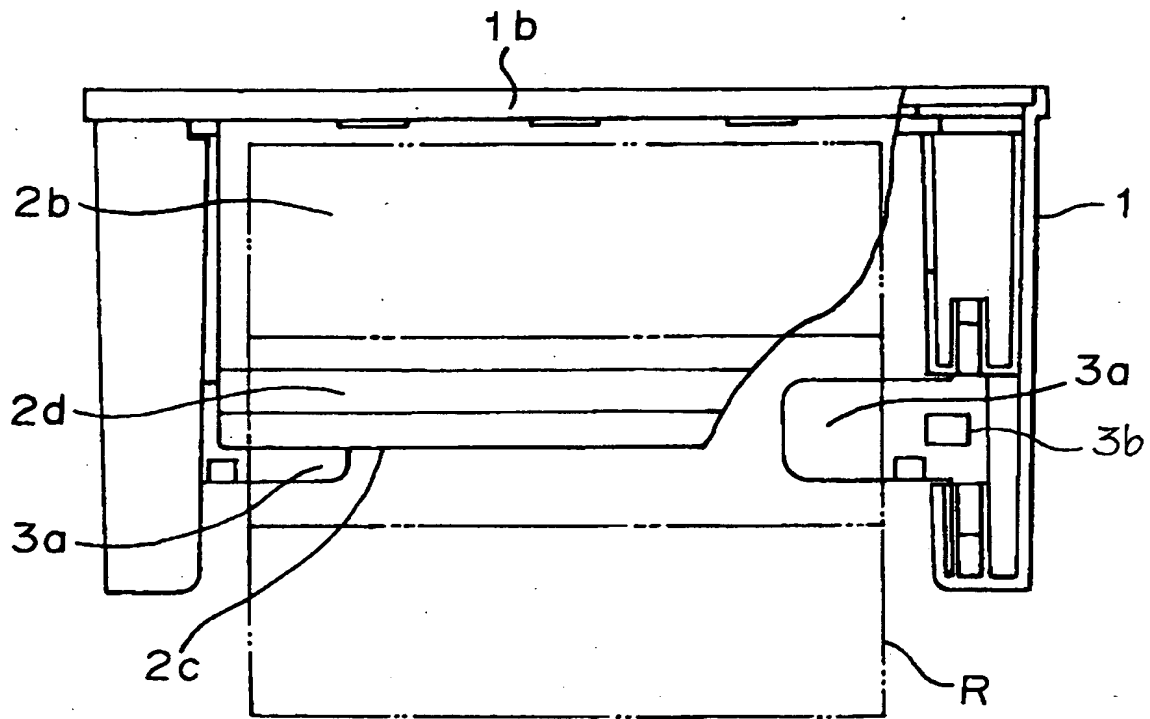


【図4】

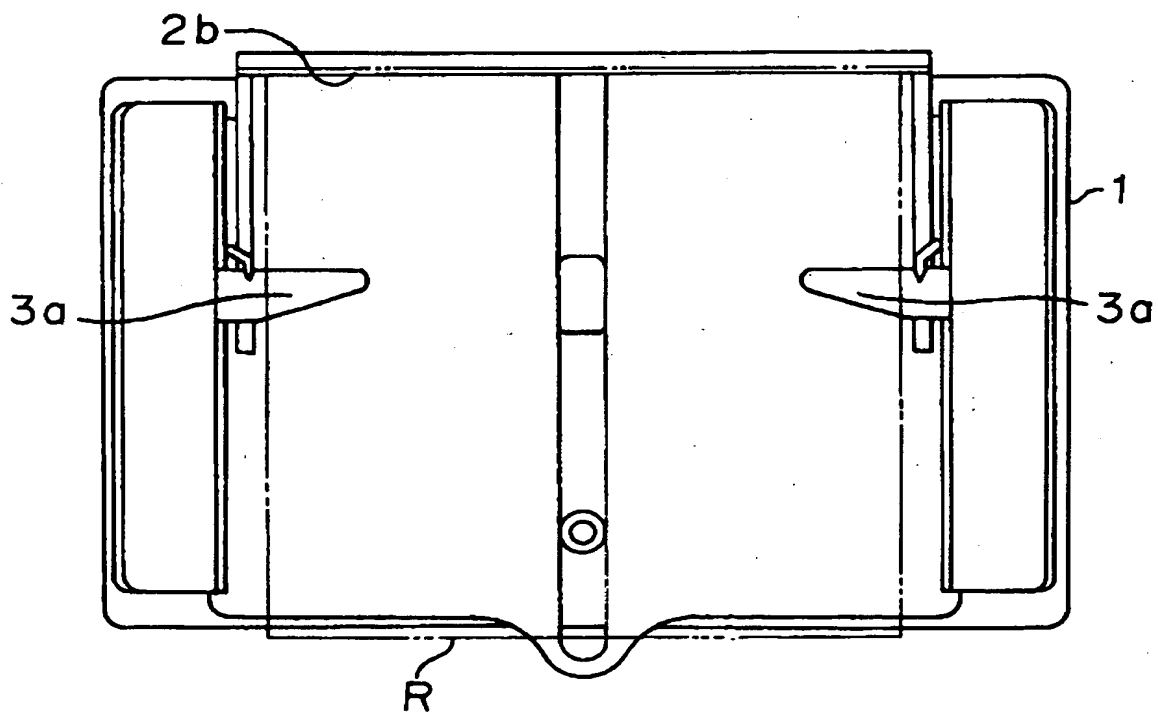




【図5】



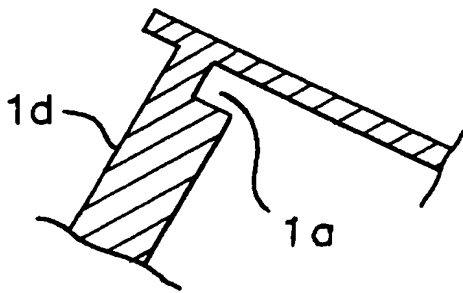
【図6】



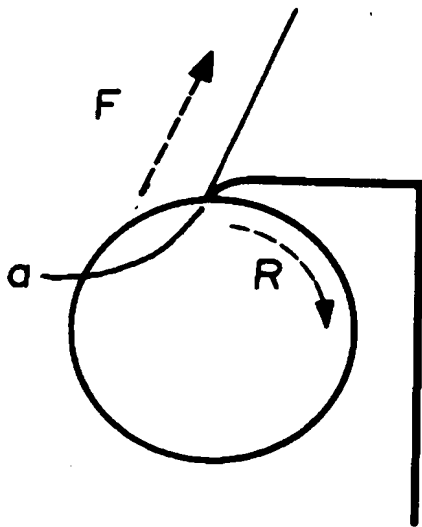
【図7】



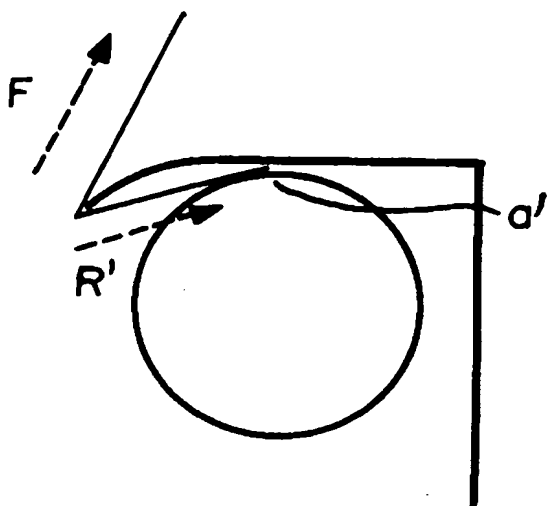
【図8】



【図9】



【図 10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ロールペーパー切断用押さえ板の自重によってペーパー部を均一且つ充分に押圧することにより、利用者は片手をもって容易にペーパーを切り離すことが可能となり、かつペーパーの残量に拘わることなく、その効果を達成することが出来るトイレットペーパーホルダーを提供するものである。

【解決手段】 ロールペーパー保持体と、ロールペーパー切断用押さえ板と、ロールペーパー軸支部材からなるトイレットペーパーホルダーにおいて、該保持体は、両側縁に該押さえ板が摺動するためのガイド部を備える背板と、ロールペーパーが着脱自在となるように可動する該軸支部材が突設される該背板に垂設される一対の保持板を備え、該押さえ板は、該保持体のガイド部に係入して摺動する背板と、該背板から略垂直の屈曲をもって前方に突出するように形成される切断用押さえ部を備えると共に、該押さえ部の先辺部がロールペーパーの中心点から略垂直線上に位置づけられることを特徴とするものである。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-025511
受付番号	50100142138
書類名	特許願
担当官	田口 春良 1617
作成日	平成13年 2月15日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成13年 2月 1日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000147958]

1. 変更年月日 1990年 8月 6日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都荒川区西日暮里1丁目3番5号  
氏 名 株式会社折原製作所